

リリースノート - Correspondence Management Solution

2012年3月5日

© 2012 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

このファイルには、製品のドキュメント作成時には記載できなかった重要な情報が含まれています。Adobe® LiveCycle® Enterprise Suite 3 (ES3) の Correspondence Management Solution を実行する前に、この情報を確認してください。

目次

- [Correspondence Management Solution](#)
- [マニュアル](#)
- [マニュアルに関するその他の注意](#)
- [Additional Licenses and Copyrights](#)

追加のリリースノート :

- [LiveCycle モジュール](#)
- [LiveCycle Designer](#)

Correspondence Management Solution

[参照番号 3123547] 管理セキュリティを有効にしている場合、Correspondence Management Solution は、WebSphere アプリケーションサーバーではサポートされません。Correspondence Management Solution インターフェイスへのアクセス中にログインの問題が発生する可能性があるからです。

管理セキュリティの無効化については、WebSphere の公式ドキュメントを参照してください。

[参照番号 3112395] Solaris/WebLogic セットアップで、*repeat* タグを含むテキストモジュールは解決されません。その結果、モジュールの一部であるすべてのテキストや変数を含め、テキストモジュール全体が表示されません。次のテキストで始まる長い例外メッセージが Data Services ログに表示されます。

```
*ERROR* DS.Message.General Exception when invoking service 'remoting-  
service': flex.messaging.MessageException:  
java.lang.NoClassDefFoundError :  
Could not initialize class sun.awt.X11GraphicsEnvironment
```

対処方法 : WebLogic サーバーの起動に Telnet を使用している場合、アプリケーションサーバー JVM 引数にパラメーター *-Djava.awt.headless=true* を含めます。

[参照番号 2908302] アセットの状態を元に戻すと、更新されない可能性がある依存アセットのリストが表示されます。

Correspondence Management Solution の通信を作成アプリケーションで作業しているとき、アセットの状態を元に戻すと、依存アセットのリストが表示されますが、これらのアセットの状態の多くは元に戻されない可能性があります。次のシナリオでは、依存レターの状態に変更が発生する可能性があります。

1. DDE の追加または削除に関するテキストの変更
2. テキストモジュールでの PH の追加または削除
3. PH データ型の変更
4. レイアウトの変更または更新
5. フラグメントレイアウトの変更または更新
6. リストまたは条件に含まれるテキストモジュールの（直接的または間接的な）追加や削除

[参照番号 2910629] IPv6 アドレスが URL 内で使用されている場合、アセットのアップロードが機能しない - Correspondence Management Solution の通信を作成アプリケーションで作業しているとき、IPv6 URL を使用すると、アセットをアップロードできません。この問題を解決するには、アプリケーションにアクセスするために、IP アドレスではなくサーバー名を使用します。

[参照番号 2913708] 読み込み : 読み込みが失敗したときにユーザーにプロンプトが表示されない

読み込みが失敗した場合、ユーザーインターフェイスに表示される通知はありません。ユーザーは Error.log ファイルを調べて、読み込み操作でエラーが発生したかどうかを判断する必要があります。

[参照番号 2915916] 日本語文字に対する基本検索が失敗する

基本検索を実行するとき、複数の日本語文字を使用して検索すると検索が失敗します。例えば、「日」の基本検索は成功しますが、「日本語」の基本検索は失敗します。詳細検索では、日本語文字を使用しても問題はありません。

複数の日本語文字を使用して基本検索を実行するには、検索文字列を二重引用符で囲んでください。

[参照番号 2925472] 作成者インスタンスと発行インスタンスが同じマシン上にある場合、これらのインスタンスに同時にアクセスするには、個別のホスト名を使用する

作成者サーバーと発行サーバーが同じサーバー上にインストールされている場合、作成者インスタンスと発行インスタンスを同時に使用することはできません。同時に使用した場合は、一方にログインすると、もう一方の接続が切断されます。

これらのインスタンスに同時にアクセスするには、ホストファイル（etc/hosts ファイルなど）に個別のホスト名を作成します。例えば、次のように指定します。

127.0.0.1 author-instance publish-instance

その後で、次のように異なるホスト名とポートを使用してインスタンスにアクセスします。

<http://author-instance:4502/content/cm/manageassets.html>

<http://publish-instance:4503/content/cm/manageassets.html>

[参照番号 2927297] Firefox のみ : CRX が SSL モードで実行するように設定されている場合、ファイルのアップロードが機能しない

Firefox Web ブラウザーを使用し、SSL モードで実行している Correspondence Management Solution に自己署名証明書によってアクセスする場合、ファイルのアップロードが機能しません。信頼できる認証局（CA）から発行された SSL 証明書のみが使用できます。

[参照番号 2927854] 条件のインデントが 2 倍になります。

レターまたはリスト内に条件を作成するとき、条件に割り当てられるテキストのインデントの値が 1 であると、レターやリストをプレビューする場合、条件内にあるテキストのインデントの値が 2 になります。インデントは、ツールバーにある左インデントアイコンをクリックすると、手動で固定することができます。

[参照番号 2928222] テキストにスタイルを適用した後では、取り消しが機能しない

通信を作成アプリケーションで作業しているとき、テキストにスタイルを適用すると、「取り消し」ボタンを使用しても変更が元に戻りません。

[参照番号 2931024] win32 XP マシンのテキストエディターでは、イタリックと共にボールドを使用した場合、ボールドが機能しない

通信を作成テキストエディターでは、ボールドとイタリックの両方を使用してテキストを表示することはできませんが、ドキュメントをプレビューするときには正しく表示されます。このエラーは、Windows XP 32 ビットオペレーティングシステムを実行している場合にのみ発生します。Windows XP ワークステーションの場合は、<http://www.microsoft.com/typography/ClearTypePowerToy.msp> から「Clear Type Tuning」ツールをダウンロードしてインストールします。このツールを使用するときは、「**Turn on Clear Type**」を選択してください。Windows 7 のデフォルトでは「Clear Type」が有効になっているので、変更する必要はありません。

マニュアル

Correspondence Management Solution のドキュメントは、アドビの Web サイト (www.adobe.com/go/learn_lc_documentation_10_jp) から入手できます。

マニュアルに関するその他の注意

[参照番号 2930435 および 2930476] 次の構築ブロック用の API は Adobe AIR をサポートしませんが、「[Adobe Flash Platform 用 ActionScript 3.0 リファレンス](#)」では、AIR 1.0 との誤った対応が記載されています。

- Expression Manager 構築ブロック 9.5
 - Data Dictionary 構築ブロック 9.5
 - Asset Composer 構築ブロック 9.5
-

Additional Licenses and Copyrights

By installing this product, in addition to the Adobe license terms, you also agree to be bound by the third-party terms specified in the product documentation and at www.adobe.com/go/thirdparty. Adobe recommends that you review these third-party terms.

リリースノート -- Correspondence Management Solution -- 2012 年 3 月 5 日